

400 年続く“やきものの町”の工場・工房がひらく 4 日間

波佐見町内約 40 軒が参加する「オープンハサミ 2026」開幕

普段は入れない工場の特別公開から、初開催の体験企画、新作グルメまで町全体で展開

長崎県波佐見町では、本日 10 月 31 日（土）、普段は見ることのできないものづくりの現場を公開し、作り手との交流や食・文化体験を楽しめる新イベント「オープンハサミ 2026」が開幕しました。

11 月 3 日（火・祝）までの 4 日間、町内約 40 軒の窯元・工房、ショップ、カフェなどが参加し、約 400 年続く“やきものの町”を舞台に、普段は入れない工場の見学や絵付け体験、限定グルメなど、この期間だけの特別企画を展開します。



開幕初日には、普段は入ることのできない工場を見学したり、職人との交流や絵付け体験を楽しんだりする来場者の姿が見られ、町の各所で波佐見ならではの体験が繰り広げられました。

オープンハサミは、春の「波佐見陶器まつり」に続く、秋の新たな風物詩を目指して誕生しました。完成した器からは見えない、ものづくりを支える人や仕事、町に息づく食や文化など、波佐見の多彩な魅力を知ってもらい、町の新たなファンを増やすことを目指しています。

初開催となる今回は、普段は公開されていない窯元の工場見学に加え、窯づくりや印刷など、波佐見のものづくりを支える仕事や技術に触れる特別企画を実施。さらに、遊びながら波佐見焼を楽しめる初開催の体験企画や、地元の資源を活用した新作スイーツなど、「見る・知る・遊ぶ・味わう」の4つのテーマを通じて、町全体を巡りながら波佐見の魅力を体感できます。

「見る・知る・遊ぶ・味わう」町全体を巡って楽しむ4日間

「オープンハサミ 2026」では、普段は入ることのできない工場の見学から、ものづくりを支える仕事や技術に触れる体験、ワークショップ、地元グルメまで、町内各所で多彩な企画を展開します。4つのテーマを通じて、普段は見えない波佐見の魅力を体感できます。

01 | 見る

普段は入れない、ものづくりの現場を公開

普段は見ることのできない窯元の製造現場を特別公開。器が生まれるまでの工程を間近で見学し、波佐見焼のものづくりの裏側に触れることができます。

■ [和山](#) | 限定特別公開！普段は見られない工場の裏側を公開

波佐見焼の窯元「和山」では、普段は公開されていない工場の見学を実施。器がつくられる現場を間近で見られるほか、絵付け体験も楽しめます。



■ [中善](#) | 限定特別公開！波佐見焼が生まれる製造現場を見学

普段は一般公開していない製造現場を公開。中善の商品がどのようにできているのかを、この機会に体感してください。器が生まれるまでのものづくりの現場に触れることができます。



02 | 知る

器の向こう側にある、知られざる仕事と技術に出会う

波佐見焼の産地を支えているのは、窯元だけではなく。窯づくりや印刷、パッケージなど、普段は目にする機会の少ない仕事や技術を知ることができるのも、オープンハサミならではの魅力です。

■ [丸研特殊印刷](#) | 初公開！シールが次々と生まれる印刷の世界

大量のシールが次々と出来上がっていく製造工程は圧巻。身近な印刷物が生まれるまでの、普段は見られないものづくりの裏側に触れられます。

※開催は 11/2（月）のみ



■ [MIDOU・高山](#) | つくる・体験する・使うを一度に楽しむ

工場見学からワークショップ、ショップ、波佐見焼の器で食事を楽しめるレストランまで。器がつくられる現場から実際に使う楽しさまで、一度に体験できます。



■ [そとがわとなかみ](#) | 「箱」そのものがギフトになる！

商品を包む「箱」にも注目。オリジナル BOX づくりを通じて、パッケージの魅力やものづくりの楽しさを体験できます。10/31（土）・11/1（日）は、波佐見町講堂にて「オリジナルバインダーづくりワークショップ」を開催します。



03 | 遊ぶ

大人も子どもも、波佐見ならではの体験を楽しむ

町内の窯元や人気スポットでは、遊びながら波佐見焼に親しめる企画も展開。家族や友人と一緒に、いつものとは違う波佐見を楽しめます。

■ [aizengama](#) | 初開催！遊びながら波佐見焼をゲット！

クイズや探索でポイントを集め、波佐見焼と交換できる体験企画「GOOD LIFE DAYS」を初開催。遊びながら窯元の魅力に触れられる、今回ならではの特別企画です。



■ [HIROPPA](#) | 波佐見の人気スポットでワークショップ

波佐見焼とアート、自然が融合した人気スポット「HIROPPA」。「転写ワークショップ&飾り皿を作ろう」ワークショップを開催。



Photo : Kenta Hasegawa

04 | 味わう

限定スイーツから地元グルメまで、波佐見の食を満喫

■ [HASAMI no WA](#) | 日替わりキッチンカーが集結！

秋の複合的なイベントとして、ワークショップややきものの販売、マルシェ、キッチンカー、限定イベントが盛りだくさん。新企画として、波佐見焼や割引券がもらえる「シールラリー」も始まります。



■ [COFFEE MUSUME](#) | 波佐見焼の廃石膏を活用！新作和スイーツ「はさみ焼」が誕生

波佐見焼の製造過程で生じる廃石膏を肥料として活用し、育てたお米を米粉に加工。その米粉を使った新作どら焼き「はさみ焼」が、10月31日のオープンハサミで初登場します。やきものの町ならではの資源循環から生まれた、新しい和スイーツです。



■ [西の原](#) | 個性豊かな飲食店が集まる人気エリア

カフェやおにぎり店、コーヒーショップ、ジェラート店など、個性豊かなお店が集まる「西の原」。町歩きの途中に立ち寄り、さまざまなグルメを楽しめます。



■ [ZOE](#) | 波佐見焼の器と一緒に楽しむスイーツ

波佐見焼の器で提供されるスイーツが登場。スイーツを味わった後は、器も持ち帰ることができる、やきものの町ならではの特別な体験です。



他、オープンハサミ限定！プレゼント企画やライブ、オトクなセールなども開催。

詳細は[公式サイト](#)を確認ください。

「オープンハサミ 2026」開催概要

名称 : オープンハサミ 2026
日程 : 2026 年 10 月 31 日 (土) ~ 11 月 3 日 (火・祝)
※時間は事業者・コンテンツによって異なります
開催場所 : 長崎県波佐見町内各所
主催 : オープンハサミプロジェクト
公式 HP : <https://open-hasami.com/>



オープンハサミイベント拠点「波佐見町講堂」

イベントの拠点は、国の登録有形文化財にも指定された「波佐見町講堂」となります。「どこから巡ればいい？」という方にも楽しんでもらえるよう、興味や過ごし方に合わせたおすすめの巡り方を提案します。「見る」「知る」「遊ぶ」「味わう」を自由に組み合わせて、自分だけの波佐見へ。町を巡ることそのものが、オープンハサミの楽しみ方です。



波佐見町講堂 〒859-3711 波佐見町井石郷 2196-2

< 内容 >

イベントマップの配布、参加施設の案内、モデルコースの紹介、波佐見焼の販売など

< アクセス >

■お車でお越しの方

・西九州自動車道「波佐見有田 IC」から約 5～6 分・長崎自動車道「嬉野 IC」から約 15 分

■公共交通をご利用の方

・JR 大村線「川棚駅」からバスで約 15～20 分、「西の原」バス停下車すぐ

・JR 佐世保線「有田駅」からタクシーで約 15 分

波佐見焼の産地が抱える課題と、オープンハサミが目指す未来



約 400 年の歴史を持つ波佐見焼の産地・波佐見町では、人口減少や担い手不足など、ものづくりや町の文化を次世代へどうつないでいくかが課題となっています。

オープンハサミでは、普段は見えないものづくりの現場や作り手の仕事、町に息づく食や文化をひらくことで、波佐見への関心や愛着を育み、町に関わる人を増やしていくことを目指しています。

今後も、産業・観光・行政が連携し、町の人と訪れる人との交流を通じて、波佐見のものづくりや文化を未来へつなげていきます。